



発行:天草支援学校

人権教育推進委員会

発行日:令和5年3月

本年度、『明るい仲間 輝く命～一人一人の笑顔大切に～』をテーマに、全職員、全児童生徒の人権意識を高めてきました。児童生徒の人権学習の様子や教職員の研修についてお知らせします。

小学部

小学部では、「はーと①」「はーと②」「にここに」「りんどう」の4グループに分かれて道徳の授業を中心に人権学習を行ってきました。

はーと①グループでは、親切について学習し、体験活動では、マットを橋に見立て両端から渡り、友達とすれ違う場面の行動について考えました。橋を渡る途中で友達が向かい側からやってくると、ぶつからないように避けたり、友達が通り過ぎるのを待ったりする姿が見られ、身近な場面で親切にしたり、されたりする体験をすることができました。



りんどうグループでは、体験活動のピンボールゲームを通して、公正・公平について考えました。もらったボールの数が多い児童が「(自分は数多くて)ずるい。」と発言すると、ボールが平等になるように友達にボールを分けて、ゲームを始める姿が見られました。体験活動を通して平等であることの大切さを考えることができました。

また、学級活動や生活単元学習を通して、互いを認め合う仲間づくりも行ってきました。授業だけではなく、休み時間にも学年を越えて仲良く遊ぶ姿が多く見られるようになりました。

中学部

中学部では特別活動を中心に人権学習を行ってきました。児童生徒会が提示した「天草支援学校いじめ0宣言」の内容から自身の言動を振り返り、いじめのない学校づくりを目指して一人一人の行動目標「じぶん宣言」を作成しました。本年度はじぶん宣言を廊下に掲示するだけでなく、各学級で定期的に振り返るようにしたことで、より生徒の意識が高まり、優しい言葉を掛けたり、頑張った友達に拍手を送ったりするなど友達を大切にしたい多くの生徒の姿が見られました。



熊本県人権子ども集会では中学部が県内特別支援学校代表として取組を発表し、じぶん宣言を通して一人一人の人権を大切にしていきたいという思いを、県内の児童生徒や教職員に向けて伝えることができました。発表を見た学校からは、感想の手紙をいただき、それに対してこちらからも御礼の手紙を送り、学校間で交流を行うことができました。



高等部

高等部では、熊本県内における様々な人権課題等を題材にし、人権教育を行ってきました。1年生は「自己理解」や「部落差別（同和問題）」、2年生は「進路保障」や「水俣病」、「ハンセン病回復者等の人権」、3年生は「ハラスメント」や「様々な人権課題」について学習を行いました。

1年生の「部落差別（同和問題）」では、「結婚に関する差別」や「就職に関する差別」「土地差別」「インターネットによる差別被害」について知りました。2年生の「水俣病」の学習では、自分にできることは「相手を大切に生きていきたい」「人の気持ちを考える」など気付きが見られました。3年生の「様々な人権課題」についての学習では、具体的に身近に存在する人権課題を知り、自分にできること、自分だったらどうするかなどを考えました。「嫌なことは周りに相談する」という意見が出ました。



職員研修

本校では、人権に関する職員研修を年に3回、実施しています。その内の1回として、「性的指向と性自認に関する人権」について研修を行いました。啓発ビデオを視聴後、全ての児童生徒が安心して過ごすことができる学級経営や、児童生徒が性の多様性について理解を深めるためにはどのような授業づくりができるかなど、意見交換を行いました。研修中は、「呼び方を含め（～さんで統一するなど）男女をはじめとする様々な枠組みにとらわれず子供たちと接していく」「子供たちが相談しやすい雰囲気づくりを行っていく」「保健や道徳の中でも性の多様性について取り扱っていく」といった意見が挙がり、一人一人が自己の言動や授業観を振り返る機会となりました。

現在、社会全体でLGBTQへの理解が高まり、人権保障に向けた取組が行われています。本校でも校則を改定し、制服を男女という区別を無くし、児童生徒自身が選択できるようにするなど対応を行っています。児童生徒が多様な性の在り方について知り、価値観を広げることができるよう、まずは職員自身が自己の人権意識を高めていきたいと考えています。お子様のことでお気付きや気になることがありましたら、学校まで御相談ください。

